

教育経済常任委員会

委員長
小野 覚

農作物鳥獣被害防止事業

国の鳥獣被害防止総合対策事業を導入して、集落で合意形成のもと地域ぐるみで行う事業です。

金網フェンス、電気牧柵を設置するもので、町内各集落から出された希望額に対して国の配分額が少ないため、不足分を町単独で行います。

集落内の合意形成がなされていない集落もあるので、町が指導して再度申請されたら受け付ける考えです。



電気牧柵

全国和牛能力共進会出品対策事業

来年、長崎県で開催される全国和牛能力共進会出品対策協議会への補助と飼養管理経費です。

今回は候補牛を町が買い上げ、一ヶ所に集めて管理し、調教、体型の均一化を図っていこうとするものです。

委員からは、子牛の価格補填は今年度中に決定するのか、決定しなければ予算を執行できないのではないのか。また、全共終了後の牛をどうするか等質疑がありました。

子牛の価格補填は今回の予算計上分は年度末までの実績で予算を執行していきたい。また、全共後の払い下げは買い上げ前の所有者か、世話をされた若手を対象にし、価格はそれぞれで決定する考えです。



共進会

生命産業創造プロジェクト事業

町内の農業者グループが、生姜の試験栽培に取り組みます。これにともない町として、6次産業化に向けた支援のため148万円の予算計上をしました。

試験栽培の段階で中国に職員を派遣する緊急性、またアドバイザー契約についてなど、質疑が相次ぎました。当委員会としては、次の付帯決議案を付したうえで、慎重な予算執行にあたるべきだとの結論にいたり、予算特別委員会に報告しました。



生姜畑

〈付帯決議(案)〉

予算特別委員会は、このたび付託を受けた標記の議案については、原案可決すべきものと判断するが、事業の執行にあたっては、次の点に十分留意した上で執行されるよう求める。

- 1) 生産者団体による任意組織の設立を指導すること。
- 2) 現時点では、生産者の生産活動の支援に徹すること。
- 3) 予算は生産者団体への支援に支出すること。

※この付帯決議案は予算特別委員会で採択され、本会議において当事業を含む一般会計補正予算は可決されました。

総務厚生常任委員会

委員長
瀧尻 行雄

飯南町国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険の賦課限度額が引き上げられます。基礎賦課分が50万円から51万円に、後期高齢者支援均等賦課分が13万円から14万円に、介護納付金賦課分が10万円から12万円に引き上げられ、1,000万円を超える所得者の負担額が若干上がります。

飯南病院

病院情報システム調達事業

今まで飯南病院では医師が開発した独自システムによって予約、検診、医事などのデータを管理していましたが、機器の老朽化や担当医師の転勤により保守が困難になったため、電子カルテシステム(総合医療管理システム)を導入することになりました。

これにより、患者情報の適切な確保、チーム医療高度化、情報活用環境の向上、個人情報保護・管理向上、未収金管理強化などの効果が期待できます。

導入方法は業者から主要部分の提案、価格の提示を受け、総合的に評価、審査した後、導入業者を決定し、詳細を協議の後、随意契約により導入を行います。予算額は8,800万円です。



電子カルテシステムが導入されます

看護職員の状況

飯南病院では看護師、准看護師、看護助手の総数は44名(嘱託職員、臨時職員を含む)です。

このうち産前・産後休暇、育児休暇の職員は7名あり、このこと自体は大変に喜ばしいことなのですが、現場の看護職員は恒常的に不足している状態です。

飯南病院は平成22年度黒字になりました。これは医師と看護職員の努力の結果です。医師と看護職員の不足が恒常化するとサービスの低下を招くのみならず、経営を直撃する大問題となります。

平成23年度より医療従事者確保対策助成制度が始まり、医師、薬剤師、看護師を目指す学生の各1名に対し助成が開始されていますが、現場で従事するのはまだ先のことです。

読者の皆さんに看護師のお知り合いの方があれば飯南病院へご紹介ください。



飯南病院